

2022年シーズンのパリビズマブ投与開始時期の考え方

- 1, 埼玉県内では朝霞や幸手地域を中心に少数ながら RSV の感染がみられており、近隣の都県でも早期接種を開始しているところもある。
- 2, 昨年のような急激かつ爆発的な流行開始の可能性もある。以上より、WG としては、パリビズマブは予防投与薬であることから、7 月からの投与を推奨する。この推奨は、6 月からの投与を妨げるものではなく、最終的には個々の病院で判断していただく。
- 3, 7 月から投与開始した場合は 2 月までの原則 8 回投与となりますが、感染流行状況によって終了時期に関しては情報提供いたします。尚、症状詳記の記載をお願いします。

2022年6月6日 文責 國方徹也